

# 道路事業

はにゅうだかみかもう すけがい  
**主要地方道 羽生田上蒲生線 助谷工区**  
 (平成30(2018)2月 全線4車線供用)

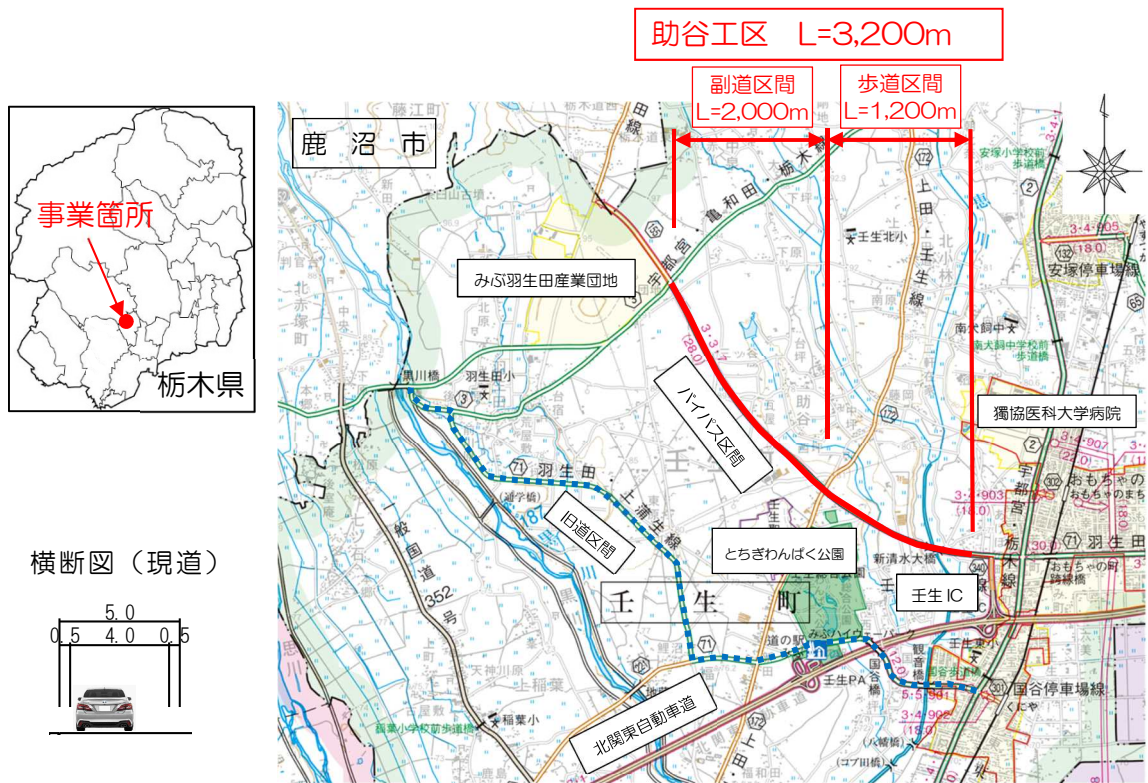
## 1 事業概要

主要地方道羽生田上蒲生線は壬生町羽生田地内を起点とし、北関東自動車道壬生ICやおもちゃのまちを経由し、上三川町の新4号国道に至る、本県の物流を支える重要な路線である。

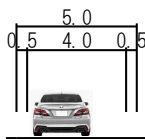
しかしながら、本路線の県道宇都宮亀和田栃木線から県道宇都宮栃木線までの区間は、幅員が狭く一部屈曲しており、安全で円滑な通行に支障を来していた。

また、沿線には、第3次医療機関である獨協医科大学病院が立地するとともに、みぶ羽生田産業団地の整備が計画され、壬生ICまでのアクセス強化が必要とされていた。

このため、県では安全で円滑な通行空間を確保するとともに、物流の効率化や地域間の交流連携の強化を図るため、平成7年度からみぶ羽生田産業団地やとちぎわんぱく公園、壬生ICを結ぶ3,200mのバイパスに着手し、平成30年2月に全線供用開始した。



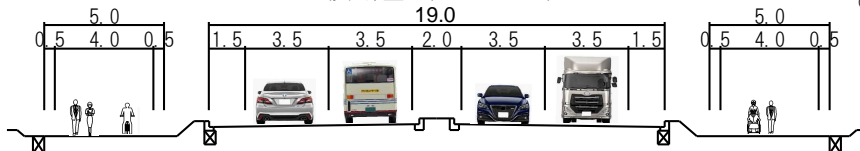
横断面 (現道)



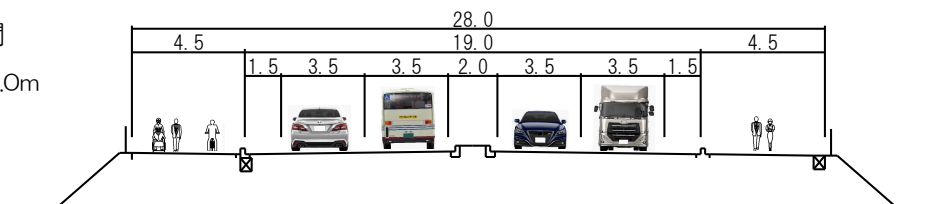
横断面 (バイパス)

(単位: m)

両側副道区間  
 道路幅員 W=29.0m



両側歩道区間  
 道路幅員 W=28.0m



- ◆ 事業名 : 快適で安全な道づくり事業
- ◆ 事業主体 : 栃木県
- ◆ 事業箇所 : 主要地方道 羽生田上蒲生線  
壬生町助谷工区
- ◆ 全体延長 : L=3,200m
- ◆ 幅員 : 両側副道区間 L=2,000m  
W=29.0m (車道3.5m×4、副道5.0m×2)  
両側歩道区間 L=1,200m  
W=28.0m (車道3.5m×4、歩道4.5m×2)
- ◆ 主要構造物 : 新清水大橋 L=43.5m
- ◆ 総事業費 : 約64億円
- ◆ 事業期間 : 平成7年度～平成29年度  
(暫定2車線供用開始:平成25年3月)  
(完成4車線供用開始:平成30年2月)

## 2 主な事業の目的・必要性

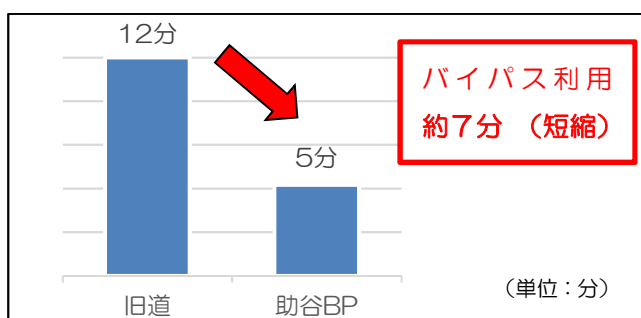
- (1) 救急医療活動等の支援
- (2) 物流の効率化による産業振興
- (3) 県西部地域と東部地域の交流・連携強化

## 3 事業の整備効果等

- (1) 救急医療活動等の支援

新たなバイパスの整備により、第3次医療機関「獨協医科大学病院」等への緊急車両の移動時間が大幅に短縮した。

<時間短縮効果（羽生田地区～獨協医大病院）>



(R3年10月実測調査より)

<緊急車両の通行状況>



### ○利用者の声（アンケート結果より）

- ・壬生町北西部へのアクセスが速くなり、緊急時にも道路が役立っている。(地元消防署)

## (2) 物流の効率化による産業振興

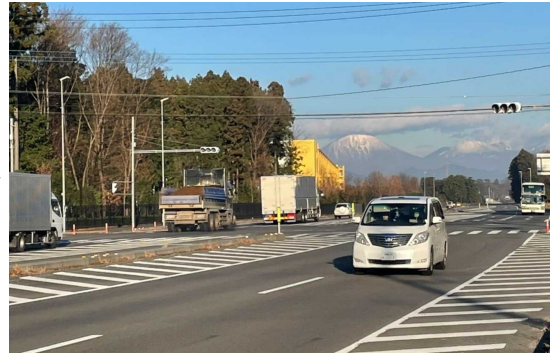
県道宇都宮亀和田栃木線と壬生ICや新4号国道を結ぶ道路ネットワークが強化されたことにより、物流が効率化し、みぶ羽生田産業団地における工場立地が図られた。

また、早期の4車線化整備により、交通量も増加した。

### <整備前(旧道)>



### <R3バイパス完成時>



### <日交通量の推移(県道上田壬生線~壬生IC間 実測値)>



(H22・H27 道路交通調査、R3年10月実測調査より)

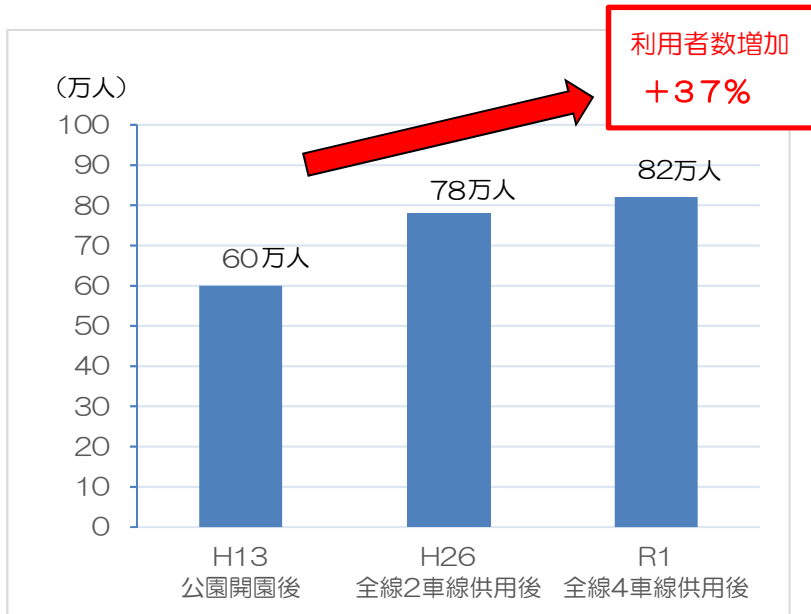
### ○利用者の声(アンケート結果より)

- 壬生ICへのアクセスが良く、道が広いので輸送効率が向上した。(地元企業)

### (3) 県西部地域と東部地域の交流・連携強化

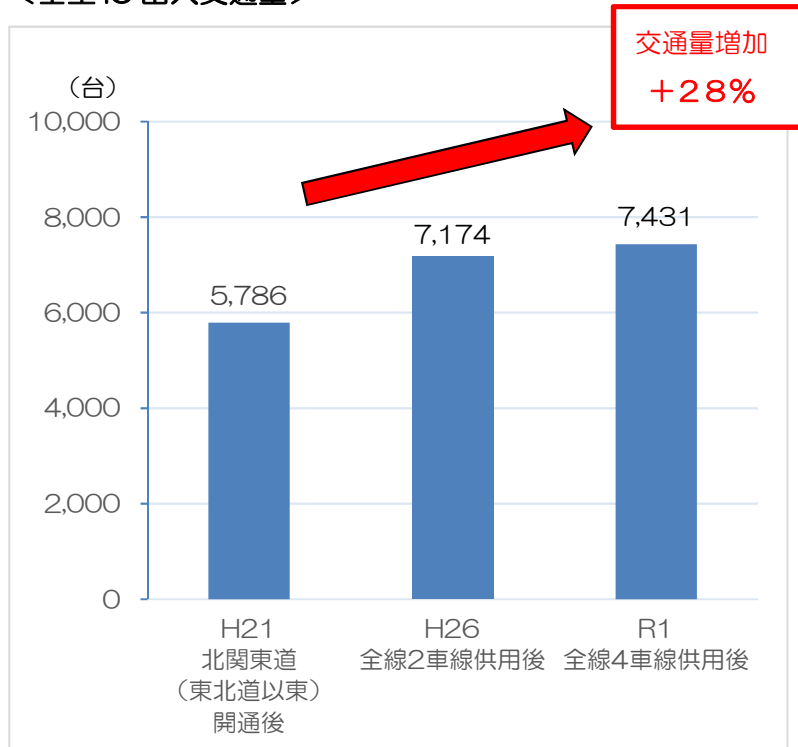
壬生町・下野市・上三川町を結ぶ道路ネットワークを強化することで、地域間の交流・連携が強化されるとともに、とちぎわんぱく公園、壬生IC、道の駅みぶなどの沿線施設へのアクセス性が向上し、施設利用者が増加した。

#### <とちぎわんぱく公園利用者数>



(出典元「栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果 (県HP)」より)

#### <壬生IC 出入交通量>



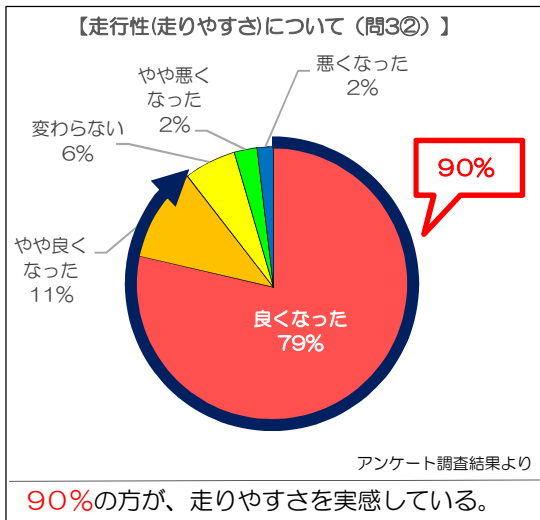
(出典元「高速道路と自動車 (高速道路調査会発行)」より)

#### 4 地元の声（アンケート結果）

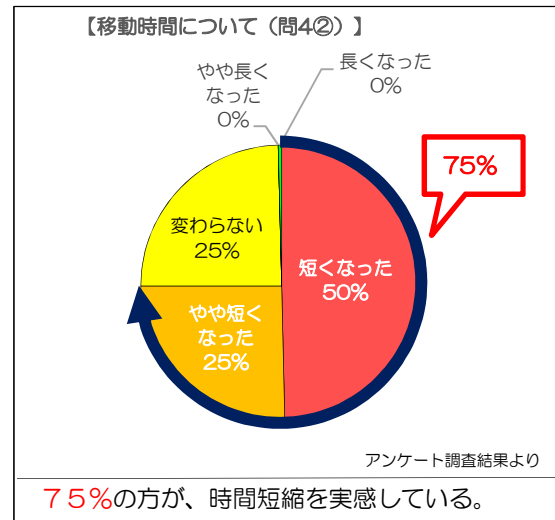
主要地方道 羽生田上蒲生線（助谷バイパス）の整備効果を検証するため、地域住民や企業等のほか、沿道店舗への来訪客にアンケート調査を実施した。

（回答数／配布数：274／447件 回答率61％ ※有効回答数は設問により異なる。）

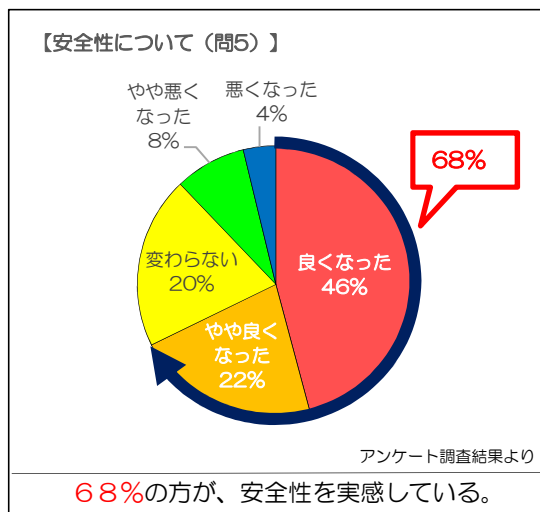
##### （1）走行性の変化



##### （2）移動時間の推移



##### （3）安全性への変化



##### （4）「助谷バイパス」を利用した感想

	回答数
他の地域（宇都宮市・栃木市・鹿沼市・下野市など）へ行きやすくなった。	132
買い物が便利になった。	125
高速道路（壬生IC）へ行きやすくなった。	122
医療機関（通院等）へ行きやすくなった。	63
通勤（通学）が便利になった。	55
合計	497

※複数回答可



### 自由意見（意見の多かった内容等）

- ◇道が広くなり、気持ちよく運転できる。
- ◇雪の日の危険性が減った。
- ◇移動時間の短縮により、自動車の運転にゆとりができ交通安全に寄与している。
- ◆ 交差点の信号機がないところは危険であるため信号機を設置して欲しい。
- ◆ 農業用の道路を中央分離帯で遮断され迂回しなければならなくなった。

## 5 今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性

本事業は、(1)救急医療活動等の支援、(2)物流の効率化による産業振興、(3)県西部地域と東部地域の交流・連携強化のほか、地域の利便性向上など様々な整備効果が発現しており、道路利用者のアンケート調査結果からも事業の効果が確認できた。このことから、今後の事後評価の必要性はないと考えている。

一方、アンケート調査の自由意見「交差点の信号機がないところは危険であるため信号機を設置して欲しい」等については、今後の道路利用状況を踏まえながら、さらなる改善の必要性が生じた場合には、地元住民や交通管理者と協議していく。

## 6 同種事業への反映

本事業においては、全体計画区間のうち壬生ICの供用開始やとちぎわんぱく公園の開園及びみぶ羽生田産業団地の整備など周辺地域の開発と連携した整備区間を設定し、集中的に投資することで安全で快適な通行を確保するとともに、沿線の施設利用者数の増加や企業立地が促進されるなど、効率的に整備効果を発揮させることができた。

今後も同種事業を実施する際には、周辺地域における新たな公共施設の整備や土地開発事業などと連携を図りながら、必要とされる区間・時期等に応じた柔軟な整備に努める。

栃木県 県土整備部 道路整備課

TEL : 028-623-2412      FAX : 028-623-2417

HP : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h09/index.html>

E-mail : [doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp](mailto:doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp)

VERY  
GOOD  
LOCAL  
とちぎ